

***MILTON ROY のグレーティングを収蔵—その2—**

2012年3月末に定年退職したM君が残したものについてアーカイブ室新聞第585号の「3月末で退職したM君が残したもの—その1—」(2012年4月26日)という記事を書いた。そのリストの中に、MILTON ROY のグレーティングは次の2個があった。

87. MILTON ROY COMPANY グレーティング 1200本 26.7度 35-53-X-360 2917-21-4-2

123. MILTON ROY COMPANY CERTIFIED PRECISION GRATING CATALOG No. 316 63度 26分

今回は、87. MILTON ROY COMPANY グレーティング 1200本 26.7度 35-53-X-360 2917-21-4-2 の紹介である。このグレーティングのデータが写真1である。このデータの中にブランク・サイズがあり、110x110x16mm と正方形のグレーティングである。

Grooves/mm	<u>1200</u>	Date	<u>1-22-96</u>
Ruled area	<u>102</u>		<u>102</u>
	groove length		ruled width
Blank size	<u>110</u>	<u>110</u>	<u>16</u>
	diameter or length	width	thickness
Radius, if concave	<u>∞</u>	Blank material	<u>B502</u>
Blaze wavelength	<u>250 nm</u>	Blaze angle	<u>26.7°</u>
Efficiency	<u>82</u>	% at	<u>2300 Å</u>
	<u>80</u>	% at	<u>2500 Å</u>
	<u>80</u>	% at	<u>2700 Å</u>
Resolution	<u>>80</u>	% of theoretical	
Intensity of maximum ghost	<u>.007</u>	%	
of parent in the	<u>1st</u>	order of	5461 Å
Catalog No.	<u>35-53-X-360</u>		
Serial No.	<u>2917-21-4-2</u>		
Please provide both numbers in any correspondence regarding this grating.			

写真1 グレーティングのデータ

Radius, if concave は ∞ とあるから平面グレーティングである。グレーティングの素生についてはデータを見ていただければいい。このグレーティングがどのような目的で購入されたかについては、今は分からないが、これはアーカイブ室の収蔵品というよりは、国立天文台の光学部品のストックという位置づけがいいと思う。

研究者の中から、このグレーティングを使用したいということがあっても提供

したい。天文台の中にはこういったまだ使える光学部品がその存在を知られることなく眠っていることも多いのだと思う。アーカイブ室がこのようなリストを公表することで、収蔵品が有効に利用され、研究費の有効利用につながって行くことを願っている。

このグレーティングの箱が写真2、保護カバーがついた状態のグレーティングが写真3である。



写真2 グレーティングの箱

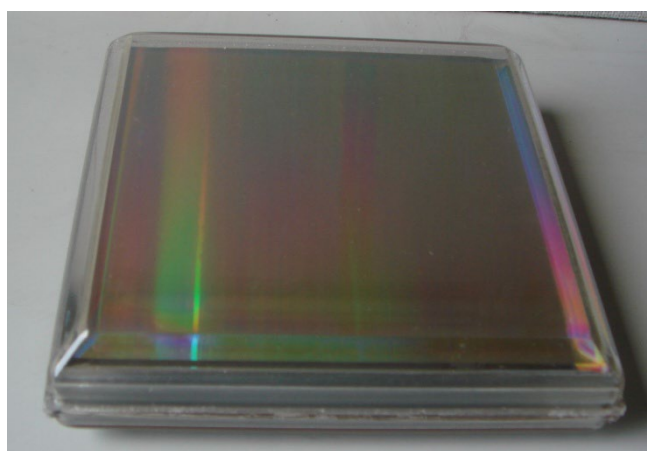


写真3 保護カバーがついた状態のグレーティング

写真 4 は保護カバーを外して写真を撮ったところである。このグレーティングはこのよ
うな色がついて見える。グレーティングに添えられた保証書が写真 5、6 である。



写真 4 箱から出され、カバーを外されたグレーティング

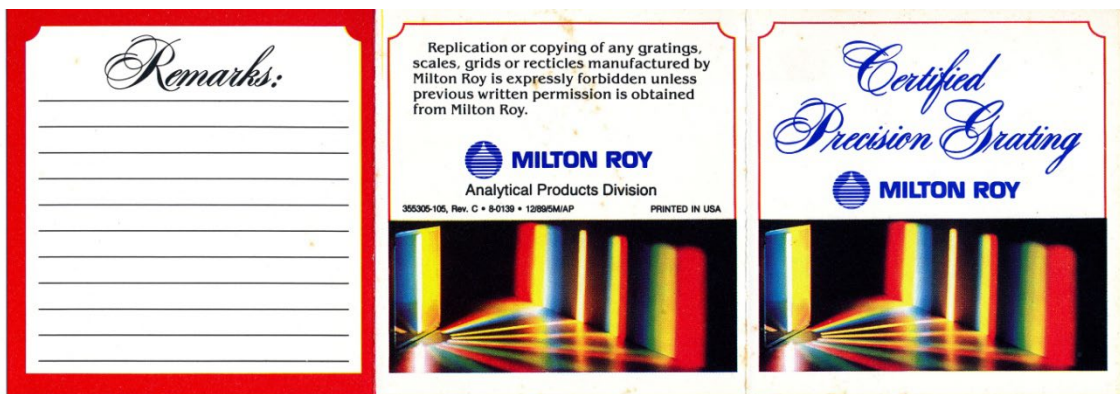


写真 5 保証書の表

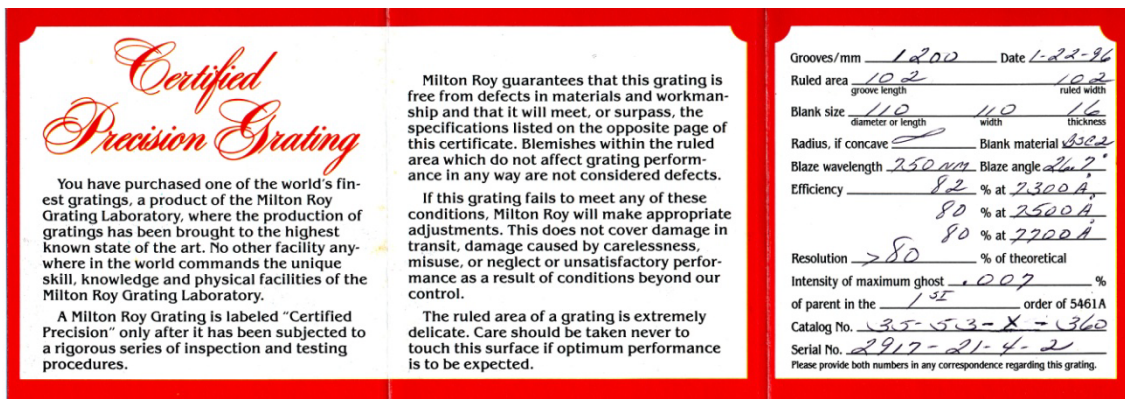


写真 6 保証書の裏

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp